

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 理研グリーン

コード番号 9992 URL <http://www.rikengreen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菊島 昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 細川寛治

TEL 03-3833-6321

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	7,493	△2.3	16	—	36	—	△17	—
21年3月期第3四半期	7,669	—	△56	—	△27	—	△96	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	△2.65	—
21年3月期第3四半期	△14.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	8,974	5,072	55.8	756.50
21年3月期	9,102	5,115	55.6	764.29

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 5,007百万円 21年3月期 5,059百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	5.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,700	2.3	250	90.8	270	59.8	80	—	12.09

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	6,691,300株	21年3月期	6,691,300株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	72,220株	21年3月期	71,870株
-----------	-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	6,619,327株	21年3月期第3四半期	6,627,000株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想には本資料の発表日現在の将来に関する見直しに基づく予想が含まれておりますので実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出回復の動きや在庫調整の進展などによる持ち直しを背景に、景気回復の兆しが見られたものの、雇用の悪化や消費の低迷に加えデフレ状況の長期化が懸念されるなど先行きは依然として予断を許さない状況下にありました。

このような事業環境のもと、当社グループは新剤を上市し拡販を図るとともに徹底したコスト削減による収益性の改善に努めました結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は74億9千3百万円（前年同期比2.3%減）となりました。利益面につきましては、営業利益は1千6百万円（前年同期は5千6百万円の営業損失）となり、経常利益は3千6百万円（前年同期は2千7百万円の経常損失）となりました。また、四半期純損失は1千7百万円（前年同期は9千6百万円の四半期純損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの概況については、以下のとおりであります。

〔緑化関連薬剤・資材事業〕

主要需要先のゴルフ場業界は、ゴルフ場の運営コストの削減など経営合理化が一段と強まり、依然として厳しい状況にありました。また道路、鉄道等の緑地分野においても、先行き不透明な経済環境からコスト管理が一段と厳しくなりました。

このような状況下、当事業部門は、一部、芝用肥料が減少しましたが、グループ販売体制を一層強化し、地域に密着した営業活動を拡大し、主要除草剤、抑草剤などの主力商品に加え、新規剤の除草剤「サブライズフロアブル」、殺菌剤「ガイア顆粒水和剤」、殺虫剤「アストロ乳剤」などの拡販に努めました。この結果、当事業の売上高は56億8千9百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は2億3百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

〔産業用薬品事業〕

主要需要先の製紙業界は、大幅な減産体制が続いているなか、国内製紙メーカーの製造工程に適した差別化商品の拡販と新規機能性薬剤の市場開拓に傾注し、現場に密着したテクニカルサービス営業に努めました。この結果、当事業の売上高は11億7千3百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益は7千6百万円（前年同期比50.1%増）となりました。

〔土木緑化工事事業〕

主要受注先の公共事業は依然として工事の受注が激減すると共に、民間大型工事も減少するなか、環境・防災関連工事やゴルフ場関連工事などの受注活動に努めました結果、当事業の受注工事高は7億3千1百万円（前年同期比19.1%減）となりました。また、完成工事高は3億6千1百万円（前年同期比87.1%増）、営業損失は8千万円（前年同期は8千4百万円の損失）となりました。

〔その他事業〕

その他事業は、保険代理業・リース業及び食品添加物の販売などで、当事業の売上高は2億6千9百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は2千6百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は89億7千4百万円で、前連結会計年度末に比べ1億2千7百万円の減少となりました。

これは、流動資産が1千8百万円の増加、固定資産が1億4千6百万円の減少によるものです。流動資産の増加は、現金及び預金8億3千1百万円、たな卸資産5億2千万円等の増加、受取手形及び売掛金13億8千3百万円の減少等によるものです。

固定資産の減少は、投資その他の資産1億2千6百万円の減少等によるものです。

負債は39億2百万円で、前連結会計年度末に比べ8千3百万円の減少となりました。

これは、流動負債が3千9百万円の増加、固定負債が1億2千3百万円の減少によるものです。流動負債の増加は、未成工事受入金2億8千4百万円等の増加、支払手形及び買掛金1億7百万円の減少等によるものです。

固定負債の減少は、長期リース債務1億2千4百万円の減少等によるものです。

純資産は50億7千2百万円で、前連結会計年度末に比べ4千3百万円の減少となりました。

これは四半期純損失による利益剰余金の減少5千万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は55.8%、1株当たり純資産額は756円50銭となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、前連結会計年度末に比べ営業活動により9億8千7百万円増加、投資活動により5億2百万円減少、財務活動により1億5千4百万円減少し、現金及び現金同等物は3億3千1百万円の増加となり、現金及び現金同等物の第3四半期連結会計期間末残高は10億7千6百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、9億8千7百万円の増加となりました。これは、売上債権の減少16億6千6百万円等の資金の増加に対し、たな卸資産の増加5億2千万円、仕入債務の減少1億8百万円等の資金の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、5億2百万円の減少となりました。これは、有形固定資産の取得による支出7百万円、定期預金の預入による支出5億円等によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億5千4百万円の減少となりました。これは、短期借入金の減少2千万円、長期借入金6千3百万円の返済及び配当金の支払い3千3百万円等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの緑化関連薬剤・資材事業の販売はその商品性により第3四半期連結会計期間は不需要期にあたります。そのため第3四半期連結会計期間は、その他の四半期連結会計期間と比べて、売上高は著しく減少するといった季節的要因があります。又、土木緑化工事事業は、第4四半期連結会計期間に工事の完成が集中する傾向があります。

現時点では、平成21年5月15日に発表しました通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる売上高、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,577,509	746,160
受取手形及び売掛金	1,686,040	3,069,821
リース投資資産	296,445	326,458
商品及び製品	1,397,734	1,278,654
仕掛品	35,650	41,923
原材料及び貯蔵品	214,399	134,849
販売用不動産	10,745	10,745
未成工事支出金	472,596	144,847
その他	227,138	164,056
貸倒引当金	△19,552	△37,770
流動資産合計	5,898,708	5,879,745
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,147,349	1,147,349
その他（純額）	403,504	406,997
有形固定資産合計	1,550,853	1,554,346
無形固定資産		
のれん	135,639	146,931
その他	13,039	17,900
無形固定資産合計	148,679	164,832
投資その他の資産		
投資有価証券	321,413	327,849
リース投資資産	391,052	527,703
ゴルフ会員権	275,358	272,687
その他	574,470	557,016
貸倒引当金	△185,587	△181,574
投資その他の資産合計	1,376,707	1,503,682
固定資産合計	3,076,240	3,222,860
資産合計	8,974,949	9,102,605

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,637,075	1,744,540
短期借入金	80,156	123,351
リース債務	311,122	329,841
未払法人税等	25,451	31,867
賞与引当金	57,341	134,801
その他	643,537	350,461
流動負債合計	2,754,684	2,714,863
固定負債		
長期借入金	31,805	71,612
リース債務	444,787	569,316
退職給付引当金	454,242	438,892
役員退職慰労引当金	150,020	132,430
その他	67,294	59,679
固定負債合計	1,148,150	1,271,930
負債合計	3,902,834	3,986,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,428	1,102,428
資本剰余金	1,328,851	1,328,851
利益剰余金	2,547,629	2,598,287
自己株式	△18,786	△18,728
株主資本合計	4,960,122	5,010,838
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47,211	48,343
評価・換算差額等合計	47,211	48,343
少数株主持分	64,780	56,630
純資産合計	5,072,114	5,115,812
負債純資産合計	8,974,949	9,102,605

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	7,669,214	7,493,002
売上原価	5,685,430	5,553,554
売上総利益	1,983,784	1,939,447
販売費及び一般管理費	2,039,851	1,922,777
営業利益又は営業損失（△）	△56,067	16,669
営業外収益		
受取利息	1,903	741
受取配当金	4,947	2,736
受取賃貸料	18,088	14,436
負ののれん償却額	756	—
持分法による投資利益	2,460	—
雑収入	7,552	8,533
営業外収益合計	35,710	26,449
営業外費用		
支払利息	5,992	3,100
持分法による投資損失	—	3,672
雑損失	1,030	302
営業外費用合計	7,023	7,074
経常利益又は経常損失（△）	△27,380	36,045
特別利益		
固定資産売却益	91	141
投資有価証券売却益	6,051	3,465
貸倒引当金戻入額	8,283	13,703
受取保険金	8,592	175
その他	5,000	—
特別利益合計	28,018	17,485
特別損失		
固定資産売却損	14,882	—
固定資産処分損	1,575	165
投資有価証券評価損	16,582	1,249
ゴルフ会員権評価損	—	1,150
その他	5,267	—
特別損失合計	38,308	2,565
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△37,670	50,965
法人税等	50,604	62,580
少数株主利益	7,947	5,926
四半期純損失（△）	△96,222	△17,541

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△37,670	50,965
減価償却費	63,094	70,115
のれん償却額	10,534	11,291
引当金の増減額 (△は減少)	△61,665	△58,725
受取利息及び受取配当金	△6,851	△3,478
支払利息	5,992	3,100
持分法による投資損益 (△は益)	△2,460	3,672
投資有価証券売却損益 (△は益)	△6,016	△3,465
投資有価証券評価損益 (△は益)	16,582	1,249
固定資産売却損益 (△は益)	14,790	△141
売上債権の増減額 (△は増加)	1,610,100	1,666,871
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△796,209	△520,107
仕入債務の増減額 (△は減少)	36,083	△108,897
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,216	7,974
その他	90,377	△54,037
小計	924,465	1,066,386
利息及び配当金の受取額	6,851	3,478
利息の支払額	△5,992	△3,100
法人税等の支払額	△345,647	△78,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	579,677	987,926
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△20,621	△7,135
有形固定資産の売却による収入	22,373	150
投資有価証券の取得による支出	△3,380	△1,064
投資有価証券の売却による収入	17,441	8,428
子会社株式の取得による支出	△120	—
貸付金の回収による収入	487	—
無形固定資産の取得による支出	—	△985
その他	4,561	△1,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,742	△502,421
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△50,000	△20,000
リース債務の返済による支出	—	△37,700
長期借入金の返済による支出	△78,129	△63,002
配当金の支払額	△33,589	△33,376
自己株式の売却による収入	—	39
自己株式の取得による支出	△3,918	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165,637	△154,155
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	434,782	331,349
現金及び現金同等物の期首残高	962,847	745,160
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,397,629	1,076,509

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	緑化関連 薬剤・ 資材事業 (千円)	産業用薬品 事業 (千円)	土木緑化 工事事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,969,860	1,231,414	192,965	274,973	7,669,214	—	7,669,214
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,282	—	1,034	—	8,316	(8,316)	—
計	5,977,142	1,231,414	194,000	274,973	7,677,531	(8,316)	7,669,214
営業利益又は 営業損失(△)	225,104	51,065	△84,114	25,613	217,669	(273,736)	△56,067

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	緑化関連 薬剤・ 資材事業 (千円)	産業用薬品 事業 (千円)	土木緑化 工事事業 (千円)	その他 事業 (千円)	計 (千円)	消去 又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,689,589	1,173,296	361,061	269,055	7,493,002	—	7,493,002
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,915	—	—	16,675	44,590	(44,590)	—
計	5,717,504	1,173,296	361,061	285,730	7,537,593	(44,590)	7,493,002
営業利益又は 営業損失(△)	203,168	76,657	△80,882	26,354	225,297	(208,627)	16,669

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。